

2023 S5 リテラー組立マニュアル

cervélo

velo

目次

重要な情報。	1	スタック調整。	19
ツールと備品のリスト.....	2	ステムの取り付け。	20
2023 S5 部品リスト.....	3	ハンドルバーの取り付け.....	21
小さな部品.....	4	最終フィッティング前。	23
フォークビヘッドセットのコンポーネント。	6	シートポストアセンブリ.....	24
ハンドルバーシステムのコンポーネント。	7	シートポストの切断手順。	25
フレームとフォークの準備.....	9	互換パーツ - HB14 トライエクステンションマウントアセンブリ。	26
フォークの取り付け。	11	エアロスルーアクスルの取り付け。	27
ブレーキホース配線.....	13	タイヤ/リムクリアランス.....	29
ヘッドセットアセンブリ。	15	S5 自転車の用意。	30
DI2バッテリーの取り付け.....	16	S5 トルク仕様。	31
電線配線と設置.....	17	Cervélo カスタマーサポート.....	33

重要な情報

このマニュアルは、Cervélo 販売店が 2023 S5 自転車をセットアップおよびカスタマイズする際に役立つように設計されています。このマニュアルは一般消費者向けではなく、正しい組み立てには指定された工具の使用が必要です。また、このマニュアルには、Cervélo から直接注文した小売店のみが入手できる独自仕様の部品も記載されています。

指定された部品を使用し、付属の組み立て説明書に従わない場合、走行中に制御不能となり、重傷を負う可能性があります。このマニュアルは、この自転車の組み立てに必要な手順と、このマニュアルに記載されている変更を行うための手順の概要です。このマニュアルは、販売店がすべてのプロの自転車整備士に求められる最低限の知識とスキルレベルを有していることを前提としています。詳細は<https://www.probma.org/>をご覧ください。

ツールと備品のリスト

このマニュアルでは、Cervélo が S5 に通常販売する方法とは異なるオプション調整を行うための手順をいくつか説明しています。これらの調整には、以下の工具と部品が必要です。これらの部品は一般販売されておらず、Cervélo の販売店でのみご購入いただけます。

Cervélo では、すべての組み立ておよび調整手順を Cervélo 認定販売店が実行することを強くお勧めします。

別途購入可能なすべての部品は、このマニュアルに Cervélo 部品番号とともにすべて大文字で記載されており、完全なリストは 3 ページに記載されています。これらの部品は、Cervélo カスタマー ポータル (<https://dealers>) にアクセスして入手できます。

サーベロ

注:シマノやSRAMなどの非独自コンポーネントはすべて

お近くの販売店から入手可能です。

注意:このマニュアルは、Cervélo 一般ユーザーマニュアルを補充するために作成されたもので、コンポーネント製造元が提供する組み立ておよび取り付け手順（この自転車に付属）を補足することを目的としています。

ツール	
	自転車用ワークスタンド（シートポストで自転車を固定するタイプ、またはフォークマウント付きのプロ用スタンド）
	2.5Nm〜15Nmの範囲のトルクレンチとアダプタ:
	六角ヘッドインサート: 2mm、2.5mm、3mm、4mm、5mm、6mm、8mm、10mm
	トルクスヘッドインサート: T25
	オープンエンドレンチ: 7mm、8mm、10mm、17mm
	ケーブルカッター
	ペンチ
	プラスドライバー

ツール	
	マイナスドライバー
	ペダルレンチ
	ブレーキローターロックリングツール
	油圧ブリードキット
	イソプロピルアルコール
	Di2ワイヤーツール - シマノ
	良質の自転車用グリース
	鋸切断ガイド（Park Tool SG-7.2または同等品）
	弓のこ（カーボン専用刃付き）

2023 S5 パーツリスト

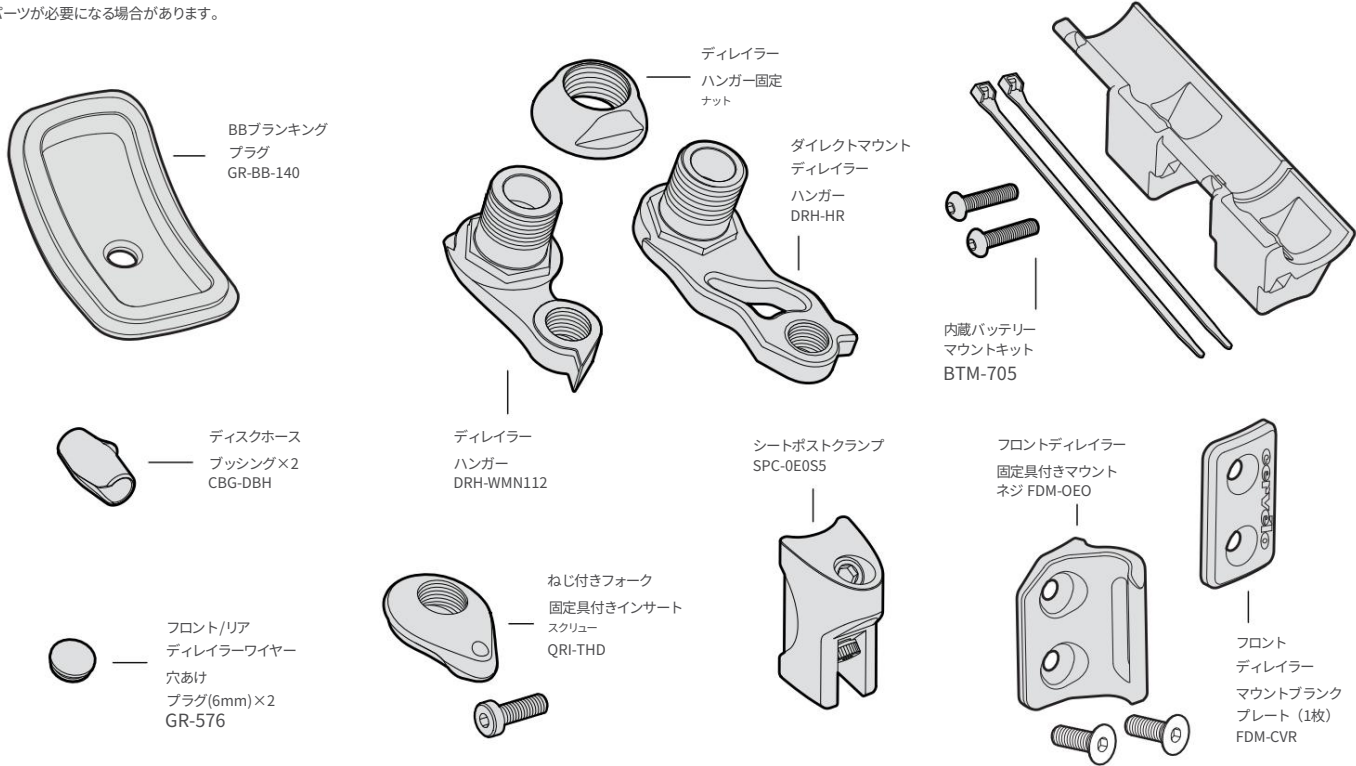
アイテムの説明	サーヴェロ部品番号
S5 シートボストクランプ 組み立て	SPC-0E0S5
フロントディレイラー 固定具付きマウント ネジ	FDM-0E0
FDMブランキングプレート	FDM-CVR
リアディレイラー 固定ナット付きハンガー	DRH-WMN112
シマノダイレクトマウント RDH (固定ナット付き)	DRH-HR
固定ネジ付きねじ付きフォーク インサート	QRI-THD
ディスクブレーキホース ガイド	CBG-DBH
BBブランキングプラグ	GR-BB-140
フロント&リア用6mmブラン キングプラグ ディレイラー	GR-576
内蔵バッテリーマウント 組み立て	BTM-705
上部ベアリングギャップ 固定具付きスパーサー ネジ	FKI-GPSP

アイテムの説明	サーヴェロ部品番号
プリロードコーン	HS-S5F-CN
テンションロッド付き 48cm用バンパー	HS-TR48
テンションロッド付き 51cm用バンパー	HS-TR51
テンションロッド付き 54cm用バンパー	HS-TR54
テンションロッド付き 56cm用バンパー	HS-TR56
テンションロッド付き 58cm用バンパー	HS-TR58
テンションロッドバンパー HS-581	
HB14/ハンドルバー	7ページ参照
HB14 マウントキット	HBP-HB14
HB14延長 パッド付きマウントと 固定ネジ	HBP-HB14-EXTMT
ST35ステム	8ページ参照
ST35ステムマウント ハードウェアキット	SK-ST35

アイテムの説明	サーヴェロ部品番号
ST35 ステムボルトカバー キット	GR-C035
ST35 ヘッドセットスパーサー キット	HSS-S5F-KT
SP20 カーボンポスト 0mm ヘッド付きオフセット	SP-SP20-ゼロ
SP20 カーボンポスト 15mmオフセットヘッド付き	SP-SP20-15MM
サーヴェロ フロント エアロスルーアクスル 取り外し可能なハンドル	QRA-AERO2-F
サーヴェロ リアエアロスルー 取り外し可能な車軸 ハンドル	QRA-AERO2-R
取り外し可能なハンドル サーヴェロ エアロ スルーアクスル	QRA-AERO2-HNDL
S5 チェーンステープロテクター PRO-CS-508	
2ボルトマウント アクセサリキット - フロント	MT-LM-F-371
アクセサリマウント リア MT-LM-R-003	

小さな部品

S5フレームは、電動変速システムをシームレスに統合できるように設計されています。そのためには、以下に示すパーツが必要になる場合があります。



小さな部品

ツーボルトマウントアクセサリキット - フロント
(MT-LM-F-371)を取り付けるには、適切な長さ
の固定ボルトを使用し、ハンドルバーの裏側
に取り付けます。最大2Nmで締め付けてくだ
さい。

アクセサリプレート
を1枚だけ取り付ける
場合は、M4x16mmの
固定ネジを使用してください。
トルクは2Nmです。

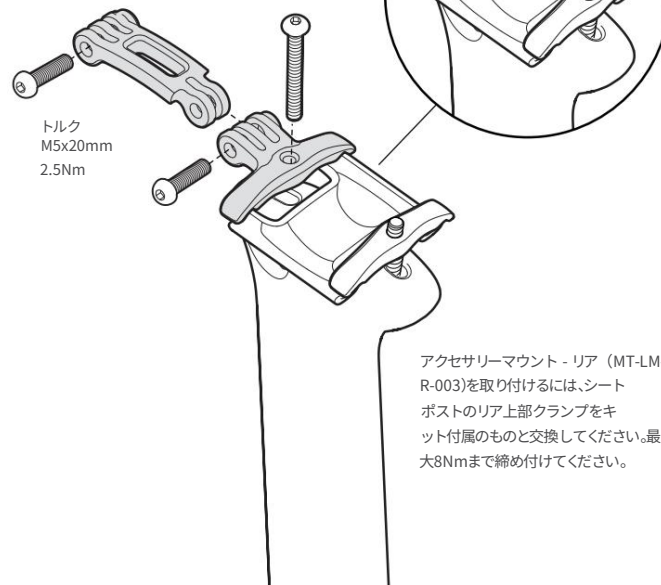
デュアルアクセサリ
プレートを取り付ける
場合は、M4x22mm
の固定ネジを使用してくだ
さい。トルクは2Nmです。

トルク
M3x6mm
から1Nm

Garmin およ
び Wahoo コ
ンピューター用のイ
ンサートが含
まれています。

トルク
M5x20mm
2.5Nm

アクセサリなしで使用する
場合は、上部のクランプを反転してクリ
ップを隠すことができます。



アクセサリマウント - リア (MT-LM-
R-003)を取り付けるには、シート
ポストのリア上部クランプをキ
ット付属のものと交換してください。最
大8Nmまで締め付けてください。

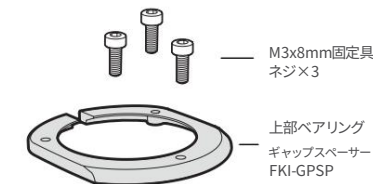
フォーク&ヘッドセットコンポーネント

⚠ WARNING

Cervéloのフレームとフォークは互いに連動するように
設計されています。別のフォークを取り付けようと
しないでください。

注: S5 ヘッドセット アセンブリには
スプリット リングは必要ありま
せん。

S5フォーク
48cm FK147-2464
51cm FK147-2465
54cm FK147-2466
56cm FK147-2467
58cm FK147-2468



上部ベアリング
1-1/8インチ、36° x 45°

下部ベアリング
1-3/8インチ、36° x 45°

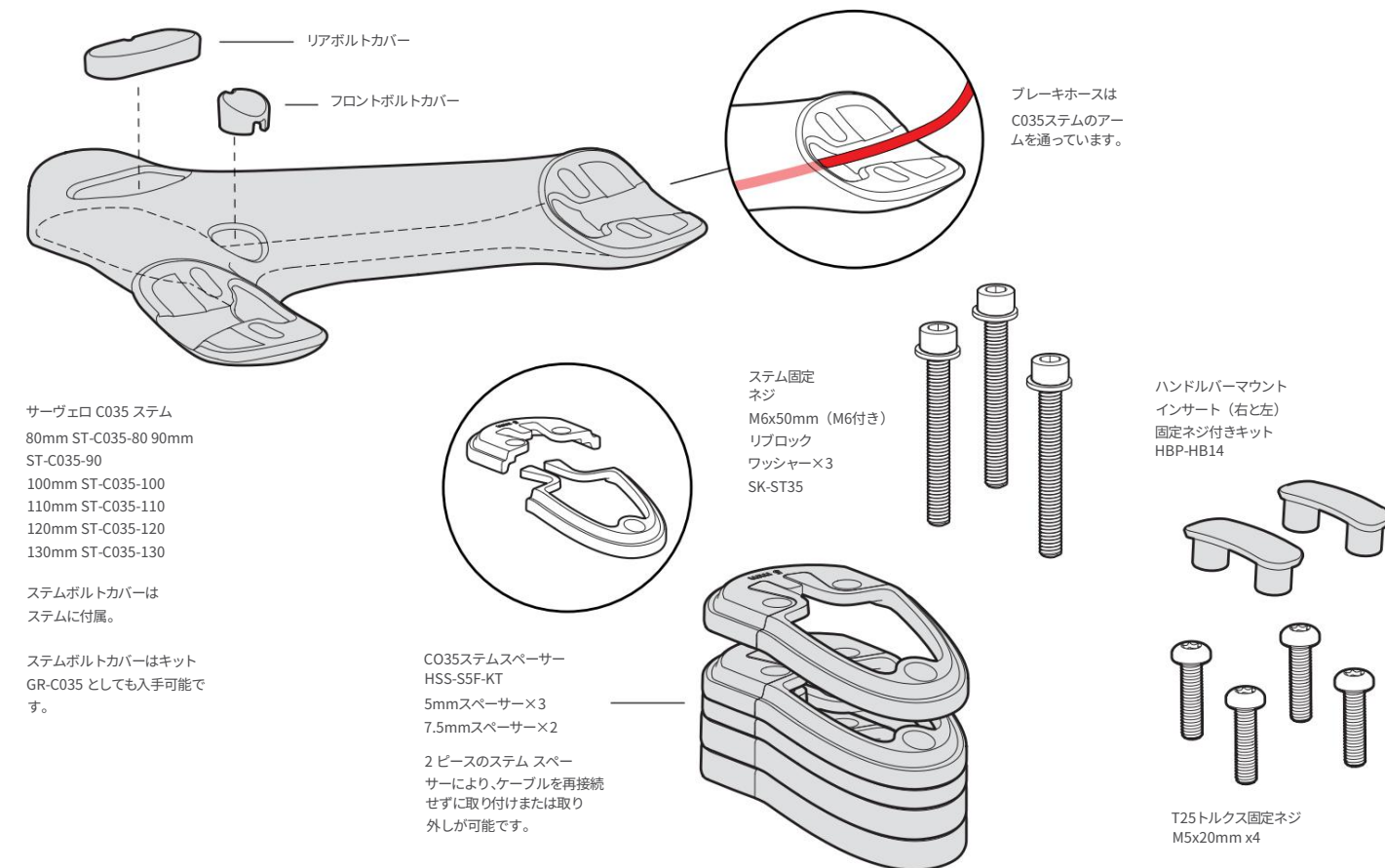
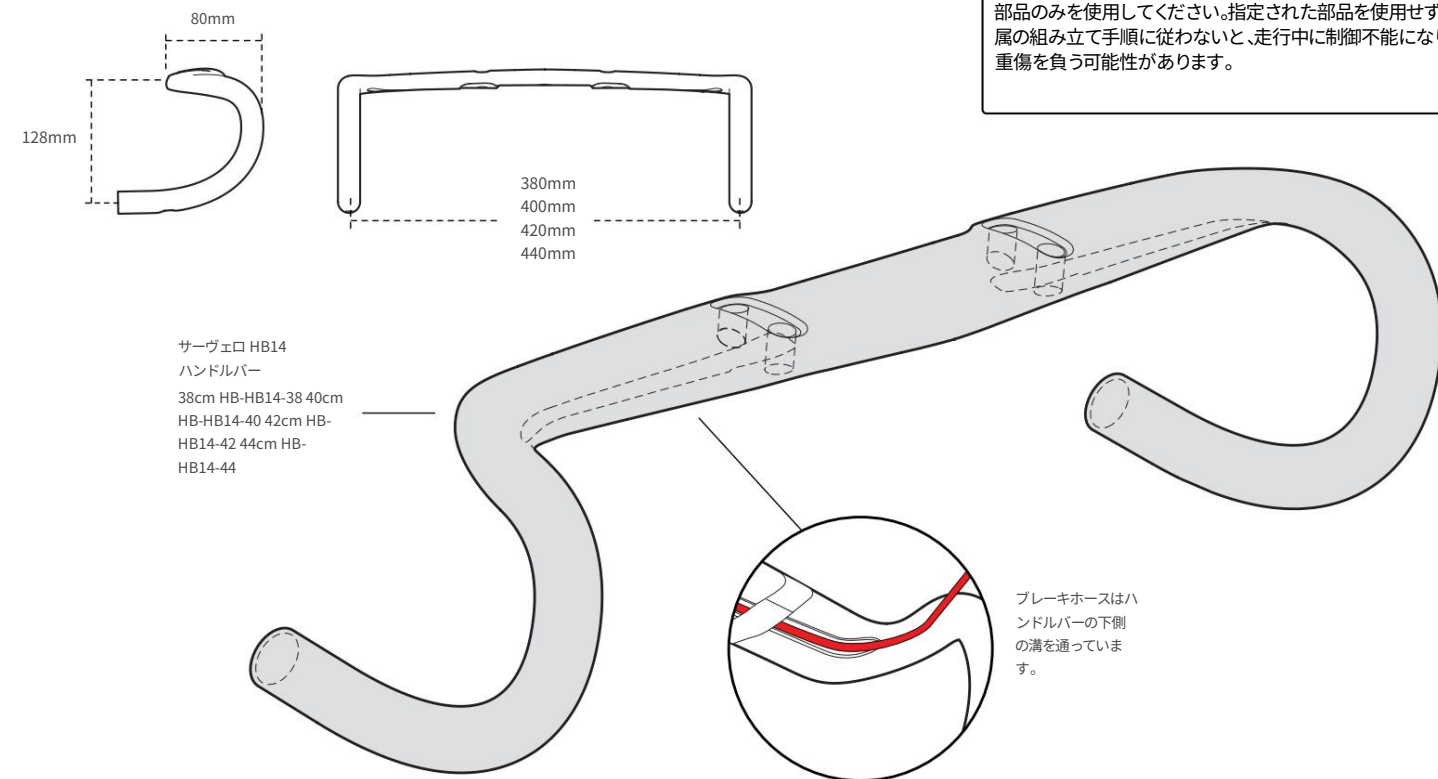


プリロードコーン
HS-S5F-CN

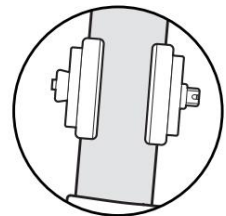
テンションロッド
48cm-HS-TR48
51cm-HS-TR51
54cm-HS-TR54
56cm-HS-TR56
58cm-HS-TR58

テンションロッド
バンパー
HS-581

ハンドルバー&ステムコンポーネント



フレームとフォークの準備

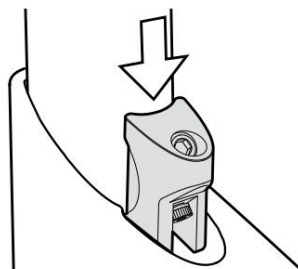


WARNING
固定されたシートポストのみを使用してフレームを保持します。

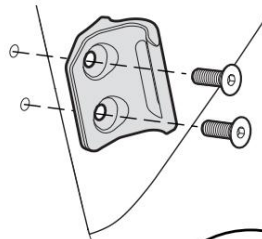


WARNING
トップチューブをクランプするとフレームが損傷し、保証が無効になる場合があります。

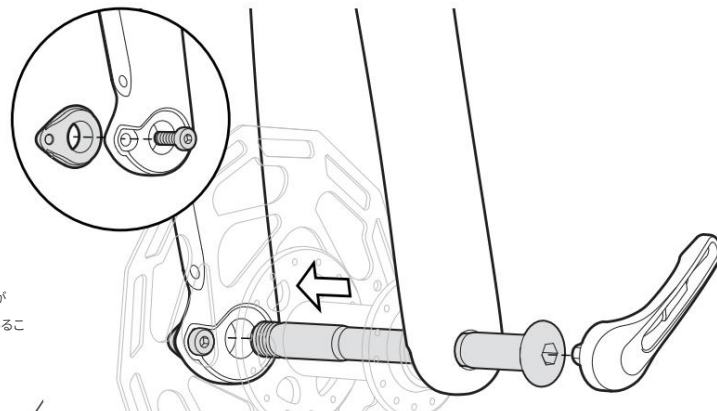
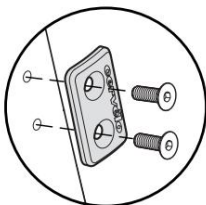
1. フレームとシートポストの両方にカーボンペストを塗ります。
2. シートポストとシートポストクランプ (SPC-0E055) をフレームに完全に挿入し、トップチューブと完全に面一になるようにします。
3. 高さでトルクを最大 8Nm に調整します。



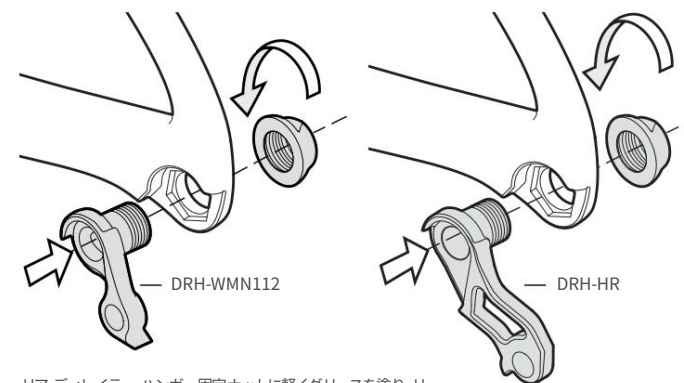
フロントディレイラーマウント (FDM-0E0) を取り付け、固定ネジが 3Nm のトルクで締め付けられていることを確認します。



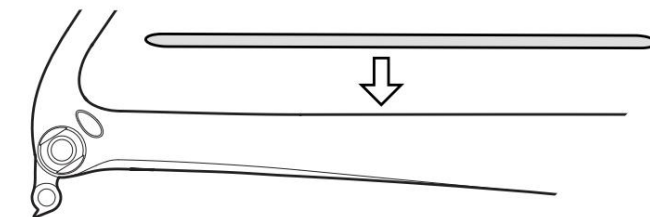
1x システムの場合は、フロントディレイラーマウントブラッキングプレート (FDM-CVR) と交換します。



1. 付属の M4 固定ネジに軽くグリスを塗布します。ねじ付きフォークインサート (QRI-THD) と固定ネジを取り付け、軽く締め付けます。
2. ホイールを取り付けない状態で車軸を取り付け、フランジがフォークのドロップアウト面に接触し、フォークブレードを圧縮しない程度まで締めます。
3. 固定ネジを 3Nm に締めます。
4. 車軸を取り外し、ホイールを取り付けます。車軸を取り付け、12~15Nm で締めます。
5. 車軸とホイールを取り外し、固定ネジを 3Nm に再度締め付けます。

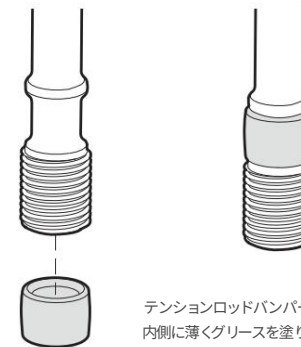


リアディレイラーハンガー固定ナットに軽くグリスを塗り、リアディレイラーハンガー (DRH-WMN112) またはダイレクトマウントリアディレイラーハンガー (DRH-SDM) のいずれかを指で締めて取り付けます。後輪取り付け後に最終締め付けを行います。



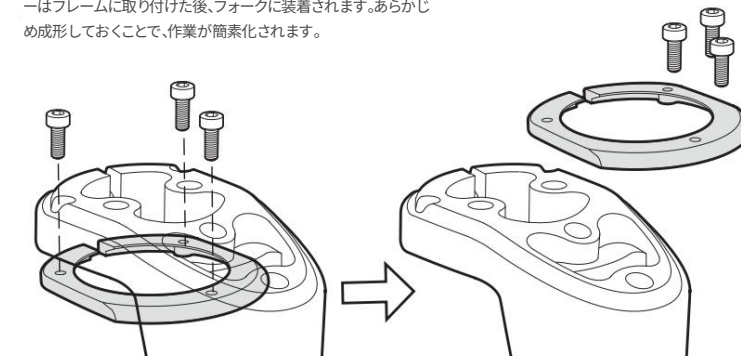
イソプロピルアルコールを使用してチェーンステアープロテクター (PRO-CS-508) の粘着面をはがし、ガードをフレームに固定して取り付けます。ガード下端は、リアドロップアウト後端から約 50mm 前方に位置する必要があります。

WARNING
後輪を取り付けていない状態でリアディレイラーハンガーアセンブリを本締めしないでください。ディレイラーの位置がずれ、変速不良が発生する可能性があります。

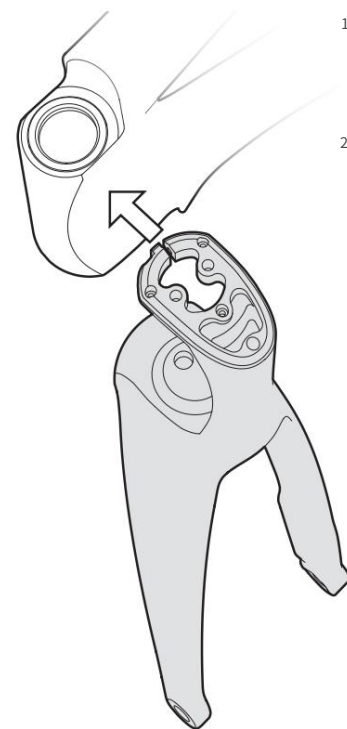


テンションロッドバンパー (HS-581) の内側に薄くグリスを塗り、テンションロッド (HS-TRxx) に取り付けます。注: 「xx」はフレームサイズを表します。

組み立ての準備として、フォークをフレームから分離した状態で付属の M3x8mm 固定ネジを取り付けて、上部ベアリングギャップスパーサー (FKI-GPSP) にネジ山をあらかじめ形成しておきます。次に、ネジとギャップスパーサーを取り外します。ギャップスパーサーはフレームに取り付けた後、フォークに装着されます。あらかじめ成形しておくことで、作業が簡素化されます。

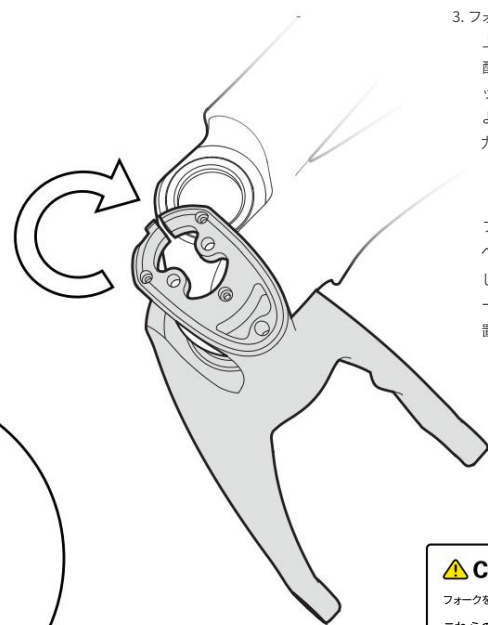
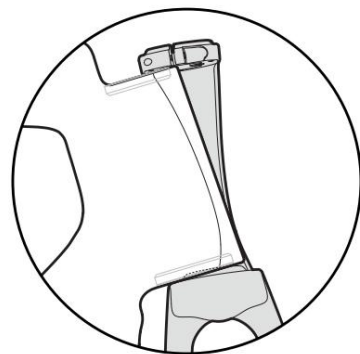


フォークの取り付け



1. ベアリングポケットにグリスを塗り、上部および下部のヘッドセットベアリングをフレームに取り付けます。

2. フォークをフレームに対して垂直に向け、フォークの上部をフレームから離して傾けた状態で、フォークの隆起したクラウン部分を下部ベアリング内に配置します。



3. フォークの上部を傾けたり回転させたりして、上部ベアリングの上に載せます。正しく配置されていれば、フォークの上部をヘッドチューブと上部ベアリングの前部より上に配置するのにほとんど、あるいは全く力を入れる必要はありません。

フォークを回転/スライドさせる
ヘッドチューブを反時計回りに回
して、フレームとほぼ一直線になり、フレ
ームに対してわずかに中心からずれた位
置になるまで回します。

⚠ CAUTION

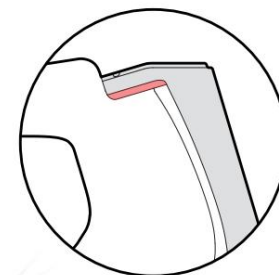
フォークを無理に押し込まないように注意してください。これらの取り付け手順を逸脱したり、パーツ間の干渉部分を無理やり押し通そうとしたりすると、ヘッドチューブの上にトップがかぶさってしまいます。不適切な組み立ては、フレームやフォークの塗装に損傷を与える可能性があります。



4. 下部ベアリングはほぼこの位置に置いたら、フォークをゆっくりと横にスライドさせて、クラウンが下部ベアリングに完全に収まるようにします。完全に固定されると、フォークの上部を上部ベアリングの上に完全に配置できます。

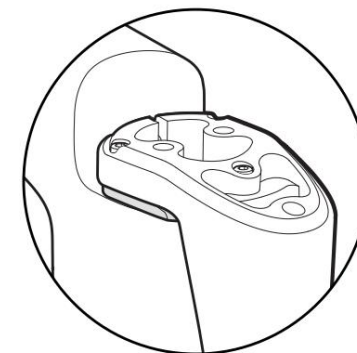
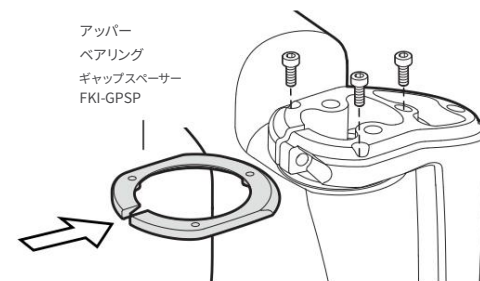
組み立てられた4mmの
クリアランスは、

上部ベアリング
ギャップスペーサー



5. フォークをフレームに対して垂直に回転させ、上部ベアリングギャップスペーサーを取り付けます。M3x8mmの固定ネジで1Nm（指締め）のトルクで締めます。

アッパー
ベアリング
ギャップスペーサー
FKI-GPSP

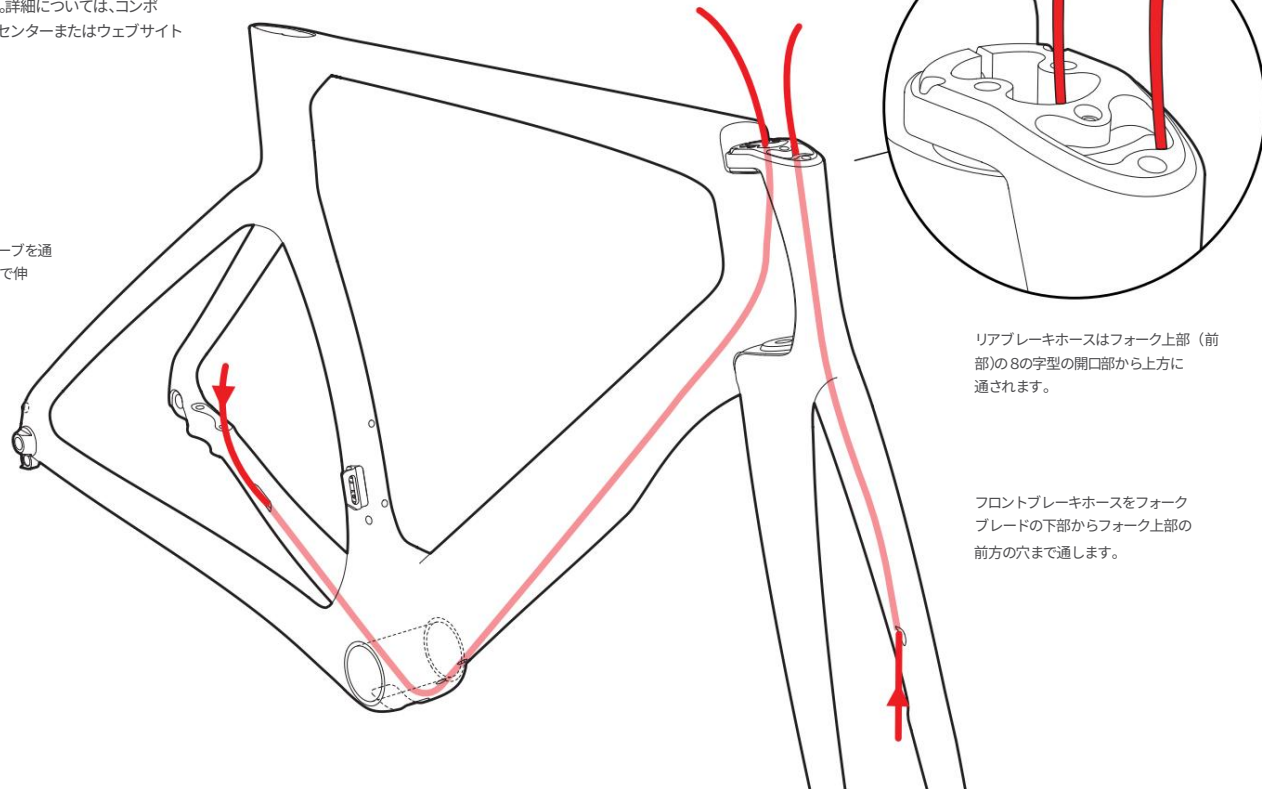


ブレーキホースの配線

これらの配線図は、メーカーの取り付け手順を補足する目的でのみ提供されています。詳細については、コンポーネントメーカーのサービスセンターまたはウェブサイトをご覧ください。

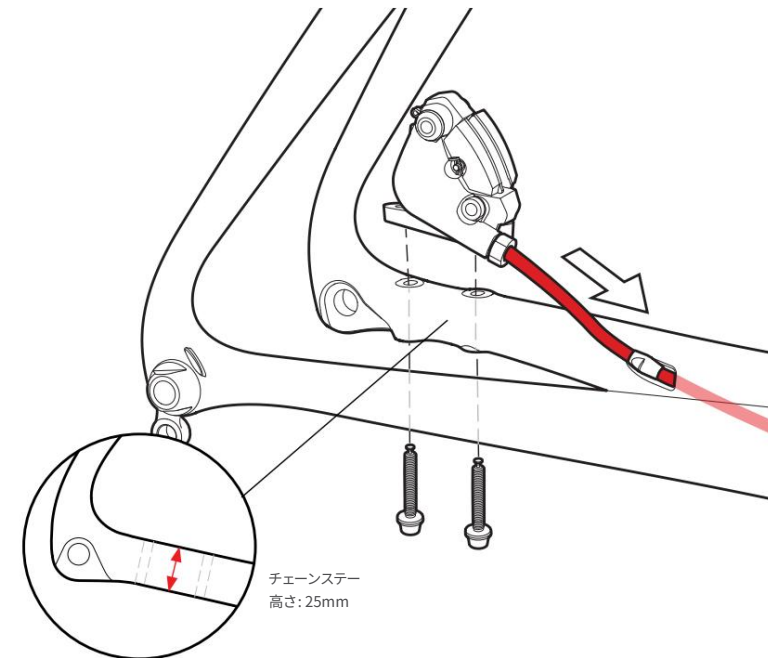
● ブレーキ

リアブレーキホースの配線
チェーンステーからダウンチューブを通り、ヘッドチューブとフォークまで伸びています。

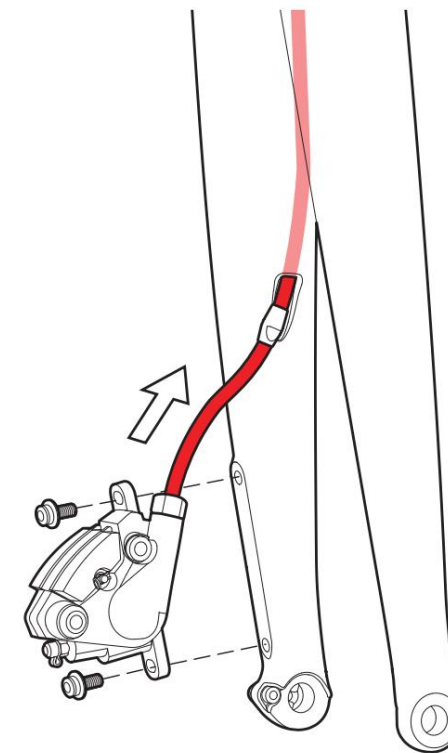


リアブレーキホースはフォーク上部（前部）の8の字型の開口部から上方に通されます。

フロントブレーキホースをフォークブレードの下部からフォーク上部の前方の穴まで通します。



ディスクホースガイド (CBG-DBH)を使用して、油圧ブレーキホースをフレームとフォークに通します。メーカーの指示に従ってキャリパーを取り付け、調整します。

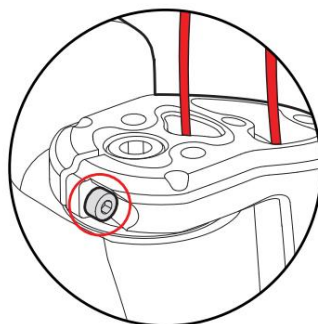


ヘッドセットアセンブリ

1. プリロードコーンにグリスを塗布して取り付けます。
2. テンションロッドのネジ端にグリスを塗り、取り付けます。テンションロッドを2Nmで締めます。
3. フォークを回して
フォーク固定ネジを締め、最大4Nmまで締めます。

テンションロッド
(HS-TRxx*)
緊張感をもって
—— ロッドバンパー
(HS-581)イ
ンストール済み
*xx = 特定
フレームサイズ

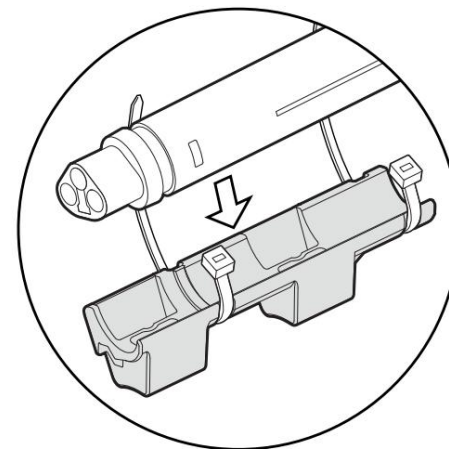
プリロード
円錐
HS-S5F-CN



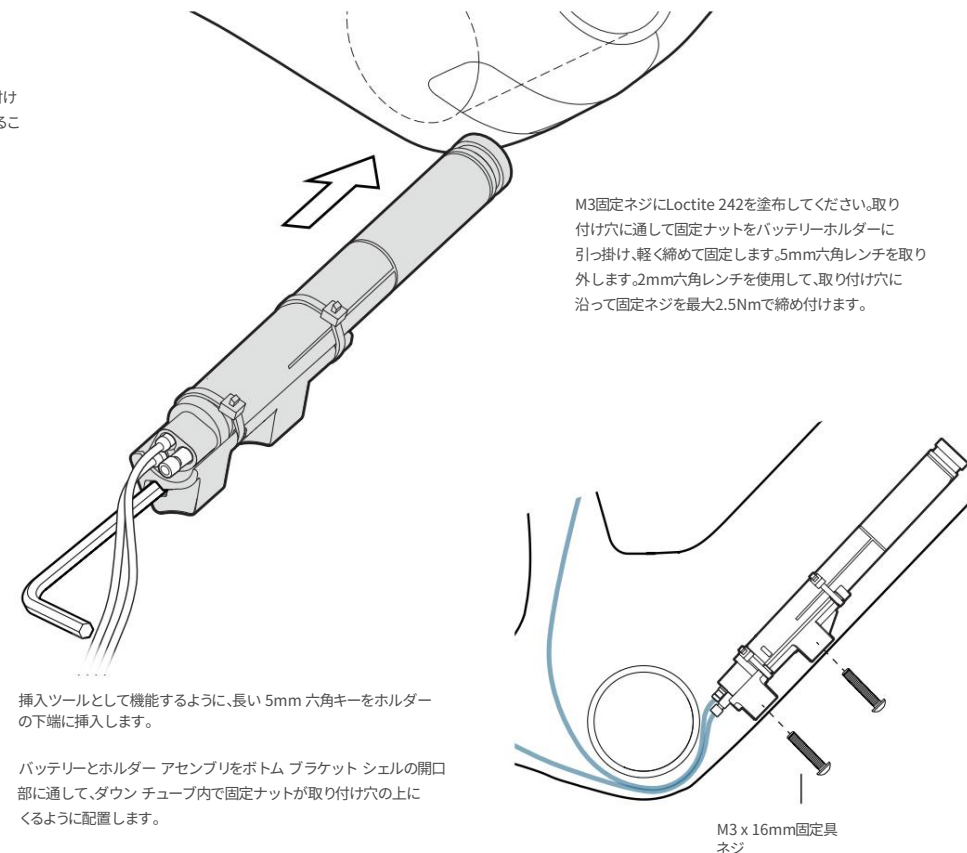
フォーク固定ネジを4Nmに締め
てフォークの取り付けを完了します。

DI2バッテリーの取り付け

Shimano Di2システムのバッテリーは、このフレームに合わせて設計された内蔵バッテリーマウント (BTM-705)を使用してダウンチューブ内に取り付けます。この場所は密閉されているため、最終取り付け前にシステムをテストすることが重要です。



2本の結束バンドを使用してバッテリーを
マウントに取り付け、取り付けます。



M3固定ネジにLoctite 242を塗布してください。取り
付け穴に通して固定ナットをバッテリーホルダーに
引っ掛け、軽く締めて固定します。5mm六角レンチを取り
外します。2mm六角レンチを使用して、取り付け穴に
沿って固定ネジを最大2.5Nmで締め付けます。

挿入ツールとして機能するように、長い 5mm 六角キーをホルダー
の下端に挿入します。

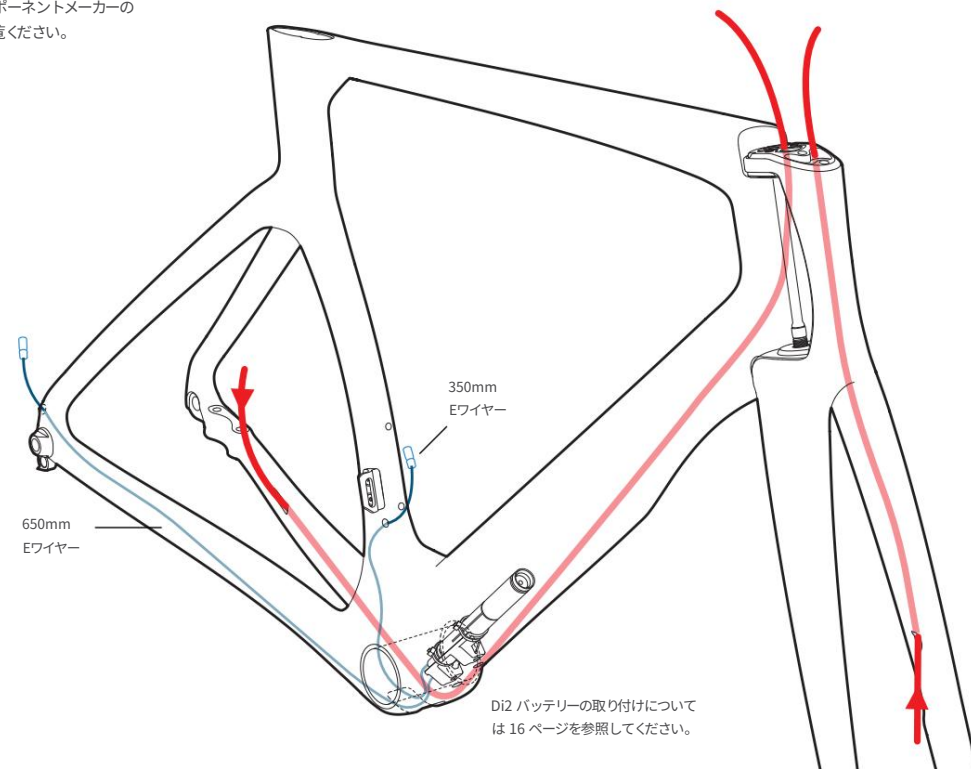
バッテリーとホルダー アセンブリをボトム ブラケット シェルの開口
部に通して、ダウン チューブ内で固定ナットが取り付け穴の上
に
くるように配置します。

M3 x 16mm固定具
ネジ

電線配線と設置

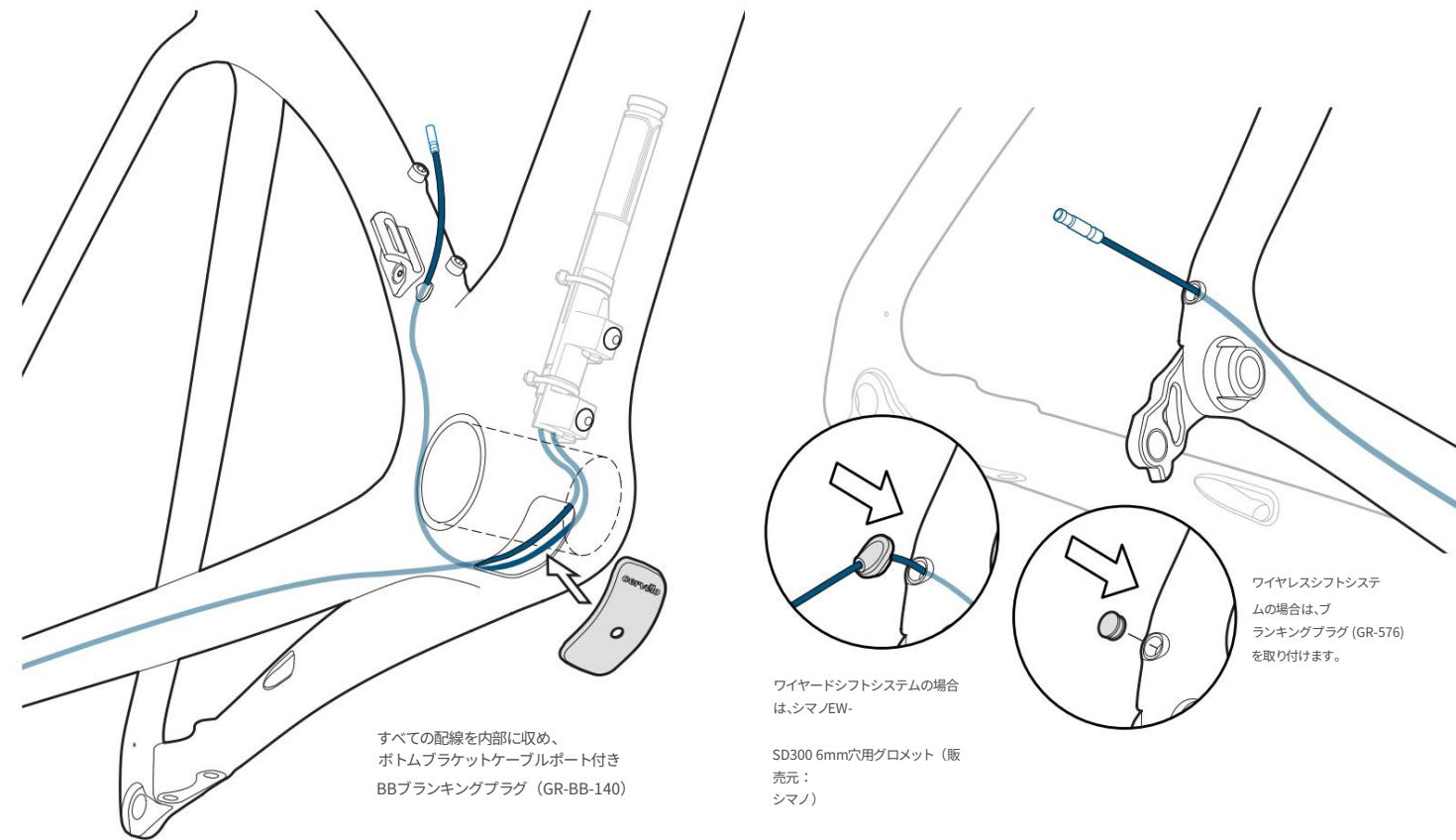
これらの配線図は、メーカーの取り付け手順を補足する目的のみ提供されています。詳細については、コンポーネントメーカーのサービスセンターまたはウェブサイトをご覧ください。

- ブレーキ
- Eワイヤー(SD300)



注意: S5 フレームとフォークは、電子式 / ワイヤレス グループセットとのみ互換性があるように設計されています。

D12 バッテリーの取り付けについては 16 ページを参照してください。



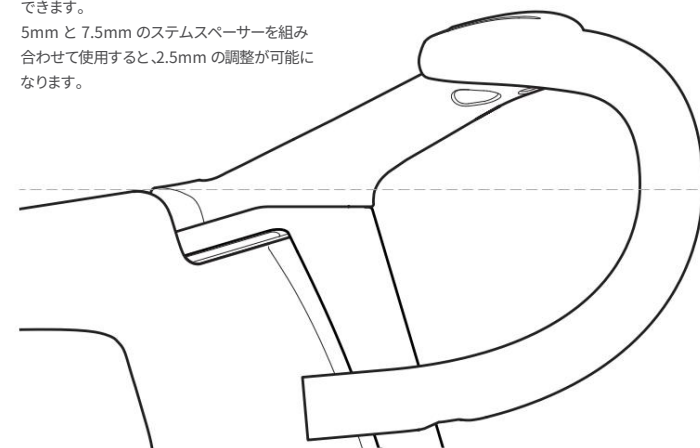
スタック調整

⚠ WARNING

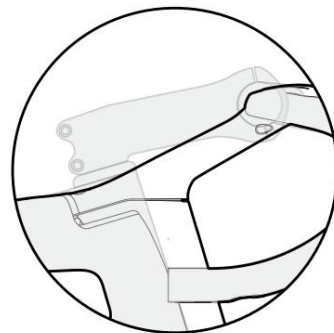
ヘッドセットスペーサーキットは、部品の交換や組み合わせを行わずに、必ず完全な状態でご使用ください。指定された部品を使用しなかった場合、または付属の組み立て説明書に従わなかった場合、走行中に制御不能となり、重傷を負う可能性があります。

S5 では、スペーサー スタックをベース (「スラム」) 位置より +5mm から +30mm まで調整できます。

5mm と 7.5mm のステムスペーサーを組み合わせて使用すると、2.5mm の調整が可能です。



0mmスタック
ステムスペーサーなし



S5ステムとハンドルバーのベース位置が一致
2022 S5 のもの、そして 6 ステムと 5mm
ベアリング カバーを備えた 2018 S5 のもの
も。

30mmスタックス
テムスペーサー (7.5mm x2.5mm x3)

ステムの取り付け

1. M6固定ネジ、ステムの底面、および
必要なステムスペーサーの上端面
に軽くグリスを塗ります。

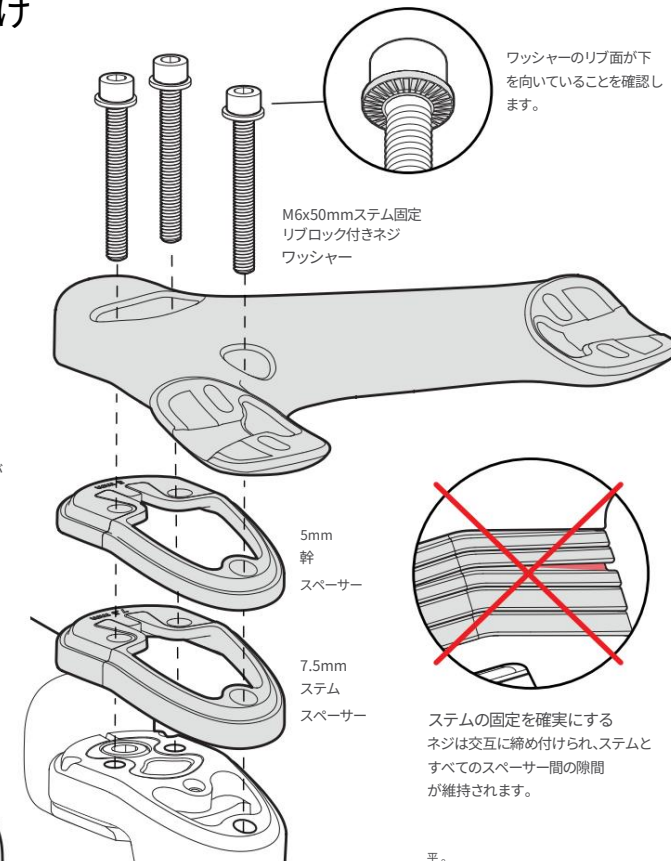
2. ワッシャーを組み立てる
M6 固定ネジのリップ側を下にして、
固定ネジを交互に繰り返し締め、
最終的に 8Nm のトルクで締め
めます。

3. 最初はバーとスペーサー、またはバー
とフォークの間に隙間がある場合が
あります。しっかりと締め付けると
隙間はなくなります。

4. フォークを回転させてフォーク固
定ネジを露出させ、4Nmに締
め直します。

注意:この図は組み立ての参考用
です。

完全な組み立て時には、ホ
ースと制御ケーブルが存在
します。



ワッシャーのリップ面が下
を向いていることを確認し
ます。

M6x50mmステム固定
リブロック付きネジ
ワッシャー

5mm
スペーサー

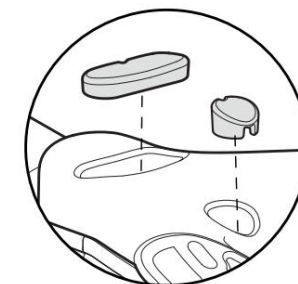
7.5mm
ステム
スペーサー

ステムの固定を確実にする
ネジは交互に締め付けられ、ステムと
すべてのスペーサー間の隙間
が維持されます。

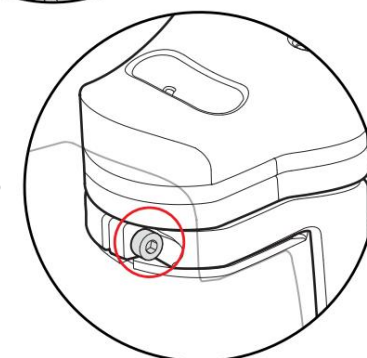
平。

⚠ WARNING

ライダーの安全を確保するため、付属のステム
とフォークの固定ネジを必ず使用してください。
ネジを間違えると、ステアリング機構が重
大な故障を起こし、ライダーが怪我をする可
能性があります。



フロントとリ
アのボルトカバーに
軽くグリスを塗って
取り付けます。



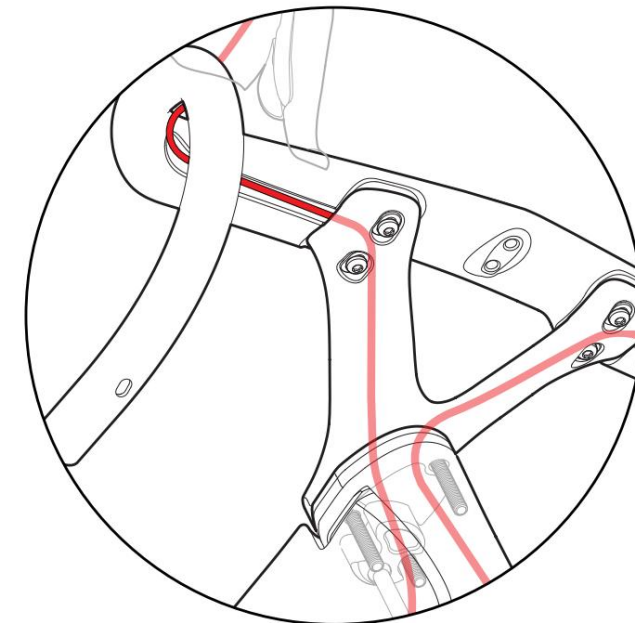
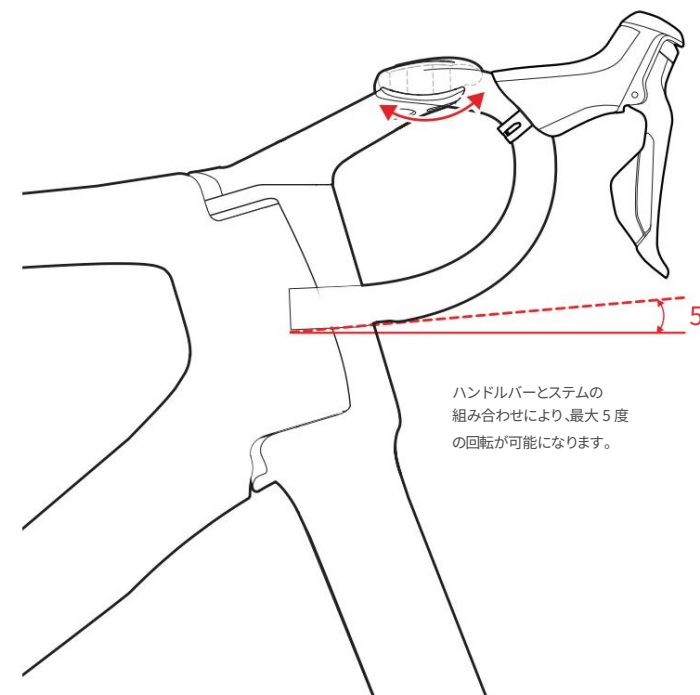
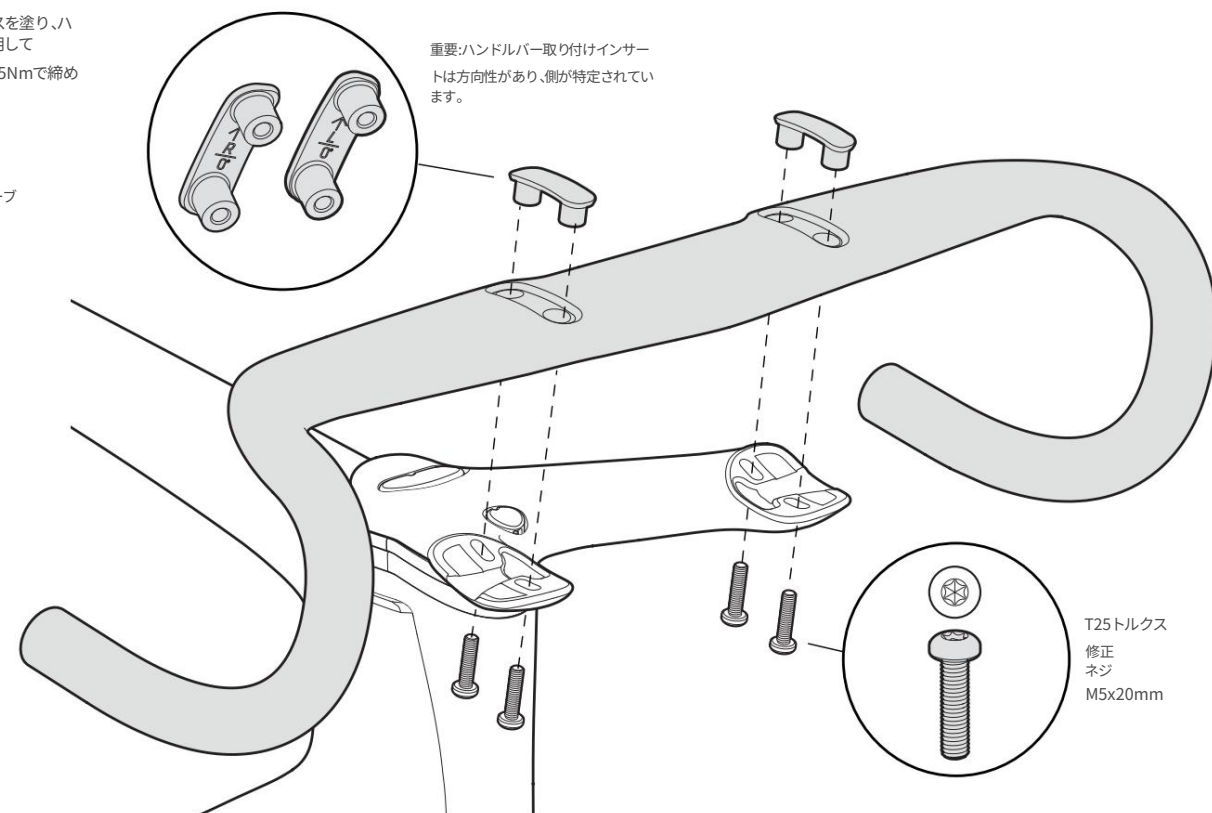
重要:ステムとス
ペーサーを取り付
けた後、フォーク固
定ネジを 4Nm に締め
直してください。

ハンドルバーの取り付け

ハンドルバー固定ネジに軽くグリスを塗り、ハンドルバーマウントインサートを使用してハンドルバーをステムに固定します。5Nmで締め付けます。

注意:この図は組み立ての参考用です。

完全な組み立て時には、ホースと制御ケーブルが存在します。



ブレーキホースはC035ステムのアームを通してHB14ハンドルバーの下側のチャネルに通されます。

最終フィッティング前

- 2ピースのステムスペーサーは、再取り付けせずに追加/取り外しが可能です。
自転車のケーブル配線では、最初の組み立て時に使用するケーブルの長さによって、後でどの程度調整できるかが決まります。

- 最初の組み立て後、ステムスペーサー（下側）を取り外してトリミングの方が簡単です。
必要に応じてブレーキレバーの油圧ブレーキホースを取り外します。

- 最初の組み立て後にスペーサーを追加すると（高くする）、必要な長さを得るためにホースの交換が必要になる場合があります。

- 可能な限り、S5 の最終的なケーブル接続を行う前に、正しいフィットを確立することが最善です。

- 最終的な取り付けに必要な長さに加えて、ブレーキホースの長さを20mm追加することをお勧めします。これにより、分解や整備作業に十分な長さを確保できます。

ここでは、再インストールに役立つかもしれない、これまでに学んだいくつかのヒントを紹介します。

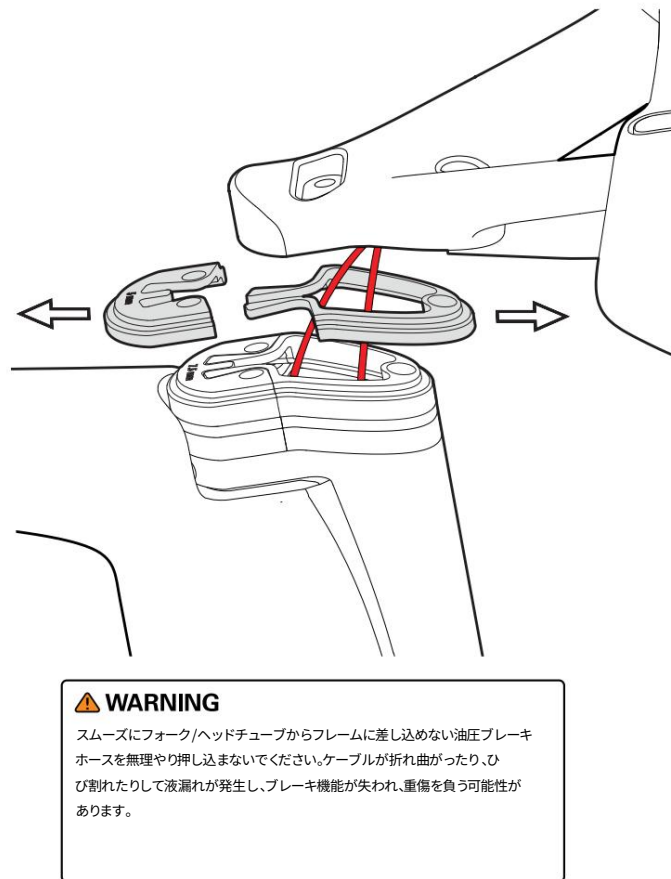
スペーサーなしでステムを再取り付けする前に:

- ハンドルバーの固定ネジを数回回転緩めます。
- ステムの再取り付け中にリアブレーキホースが挟まれないようにするには、リアブレーキキャリパーをフレームから取り外し、キャリパーを自転車の後方に向かってゆっくりと引いて、余分なホースを引き出します。

- 余分なホースをフレームに通してステムを慎重に取り付け、締めます。
ステム固定ネジ（3本交互に）を8Nmに締めます。

- 余分なホースをフレームに押し込んで、リアブレーキキャリパーを再度取り付けます。

- ホースがバーの適切なスロットにあることを確認し、締めます。
ハンドルバー固定ボルトを5Nmにします。



シートポストアセンブリ

1. 50mmボタンヘッドキャップスクリューの頭の下にねじ山に Loctite 242を塗布します。クロスバーを50mmボタンヘッドキャップスクリューに取り付け、締め付けます。

2. シートポストの切り欠きに湾曲したワッシャーと調整ダイヤルを取り付けます。

3. クロスバーを取り付けた状態でボタンヘッドキャップスクリューを取り付け、ねじ山がかみ合うまでダイヤルを回します。

4. 球面ワッシャーを 30mm の球面キャップ スクリューなので、凹面がスクリューの凸面と噛み合います。

5. Loctite 242が塗布されていることを確認してください。 30mm球面レンズの下ねじキャップスクリュー。

6. クロスバーを取り付けます。

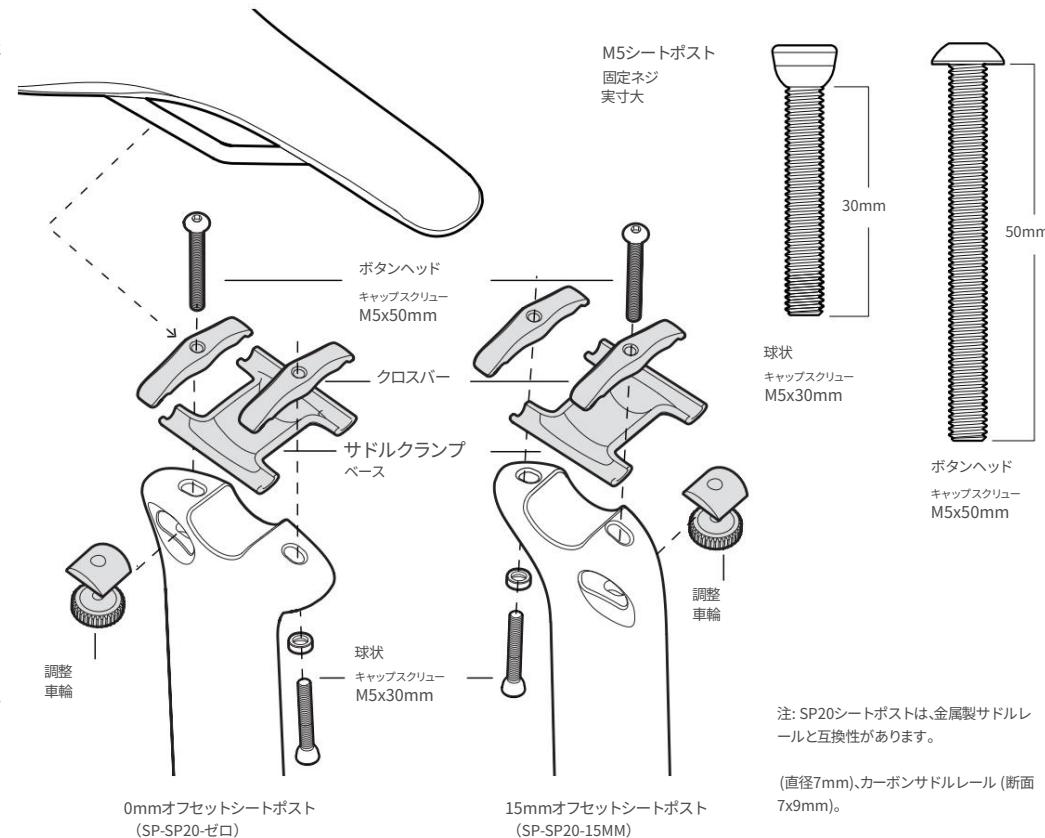
7. カーボンアセンブリを薄く塗布するシートポスト上面の半径に複合します。

8. 図に従って、下部サドルクランプベースを取り付けます。

9. サドル レールを上部と下部のクランプ面の間に配置します。

10. 最初に調整ホイールを使用して、希望のサドル角度を確立します。

11. 反対側の角度調整ネジを締めてサドルを8〜9Nmで固定します。



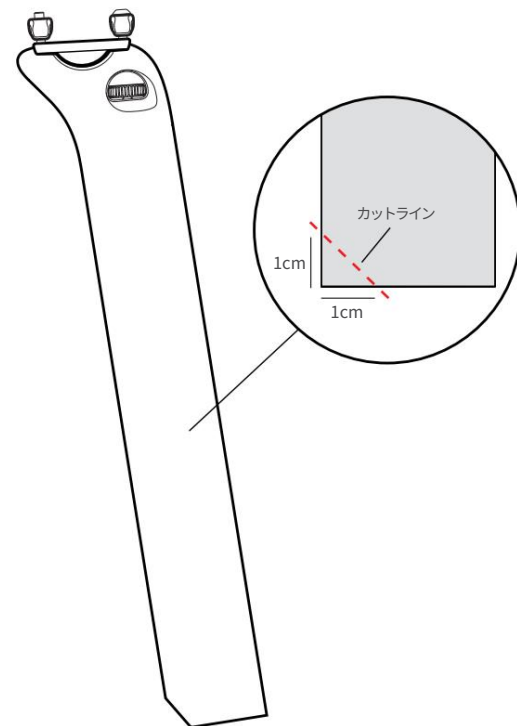
注: SP20シートポストは、金属製サドルレールと互換性があります。

(直径7mm)、カーボンサドルレール (断面 7x9mm)。

シートポストの切断手順

注:すべてのCervélo Aeroシートポストは、ポスト後端に45度の面取り加工が施されていることが必須です。取り付け後にトリミングが必要な場合は、以下の方法を推奨します。

1. シートポストの挿入を最小 6.5cm、最大 8.5cm に維持するように注意しながら、慎重に測定し、薄い色のグリースペンシルを使用して、シートポストの切断位置を正確にマークします。
2. ツールのブレード ガイドを通してカットオフラインがはっきりと見えるように、SP20 シートポストを Park Tool SG-7.2 ソー ガイド (または同等品) に挿入します。
3. カーボン複合材の切断専用設計されたブレード (または 1 インチあたり 32 個以上の歯を持つ細かい歯のブレード) を使用して、シートポストの切断に進みます (Park Tool の指示に従ってください)。
4. 細かい目のサンドペーパーを使用して、切り口のほつれやバリを慎重に取り除きます。切り口から約10cm離れたところにクランプを置きます。
5. グリースペンシルを使って、シートポストの後端に切断面から1cmの点を、そしてシートポストの後ろから1cmの点を下端に印を付けます。この2点を結んで45度のガイドラインとなる線を引きます。
6. のこぎりの刃をグリースペンシルの印に慎重に当てます
カットを続行すると、シートポストの後端に 45 度の面取りがカットされます。
7. 端を丁寧に研磨し、カーボンアセンブリコンパウンドを塗布した後、フレームに戻します。

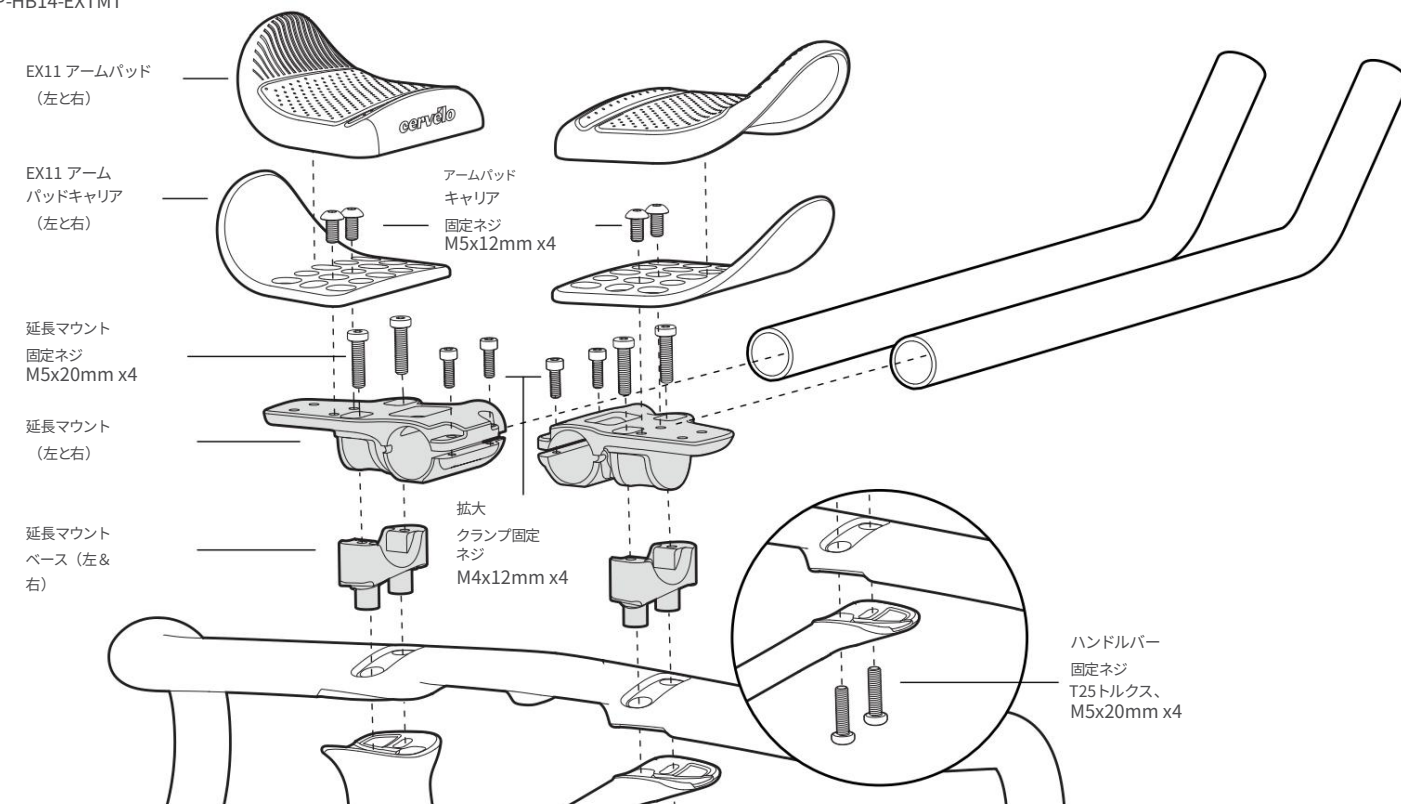


⚠ WARNING

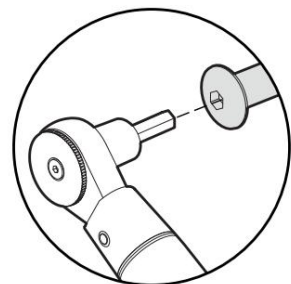
トリミングが必要な場合は、最終的な長さはフレームにシートポストが最低6.5cm残るようにしてください。この要件を満たさない場合、保証の対象外となるフレームの損傷、またはライダーの重傷につながる可能性があります。

互換パーツ - HB14 TRI エクステンションマウントアセンブリ

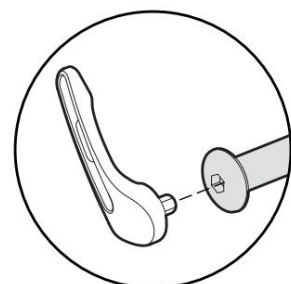
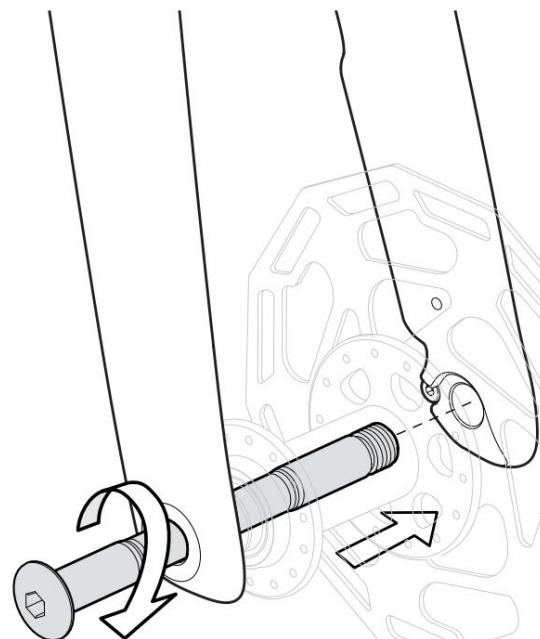
HBP-HB14-EXTMT



エアロスルーアクスルの取り付け

6mm六角レンチ/トルクレ
ンチ

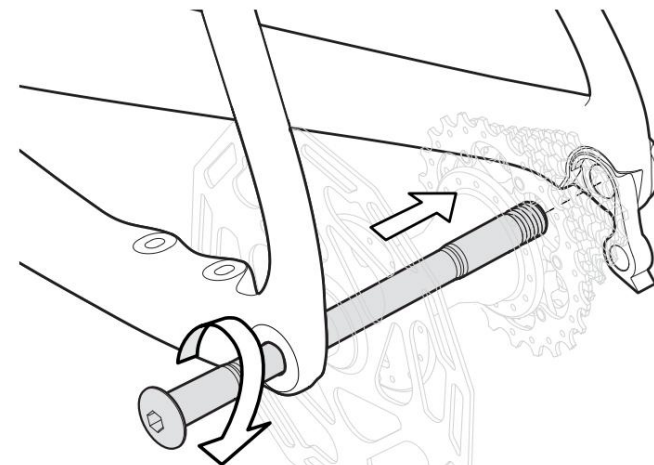
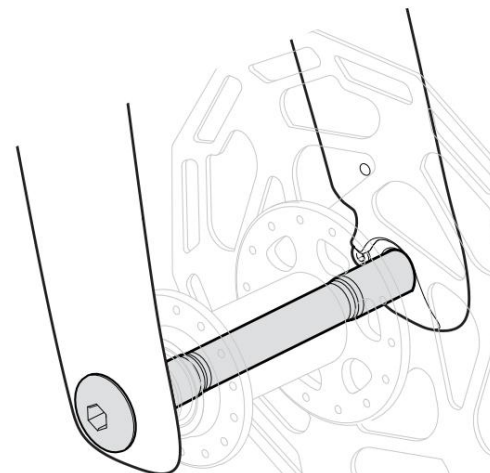
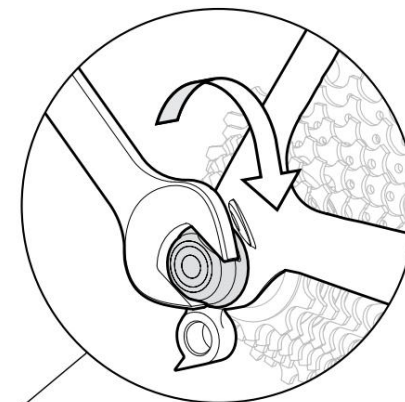
または

サーヴェロエアロ
スルーアクスル付き
取り外し可能なハンドル
(QRA-AERO2-F &
QRA-AERO2-R)フロントア
クスルを12~
15Nmに締めます。

ホイールを固定するには、グリースを塗布した車軸をドロップアウトとホイールハブに通し、車軸のねじ山側をねじ込み式インサートのねじ山部分に合わせます。位置が合っかみ合ったら、車軸をインサートのねじ山部分に時計回りにねじ込み、しっかりと固定します。

⚠ WARNING

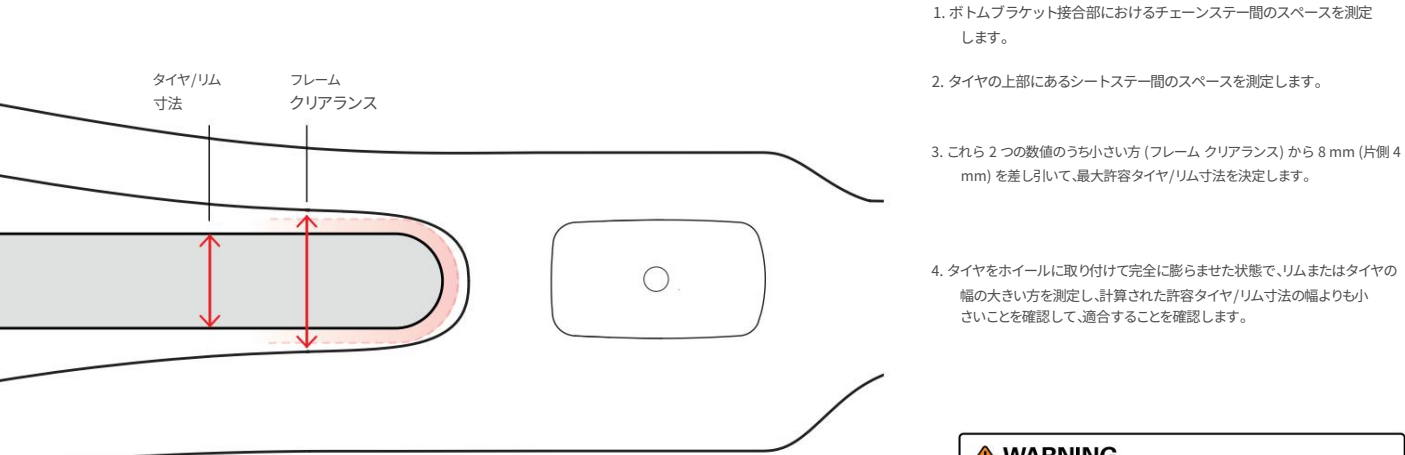
ライダーの安全を確保するためには、Cervelo Aero Thru-Axleを正しく取り付けることが不可欠です。正しく取り付けないと、ライダーが重傷を負う可能性のある事故につながる可能性があります。

リアアクスルを12~15Nmに
締めます。17mmレンチを使用して、リアディレイラーハ
ンガーナットを最終締め付けします。トルクは
12~15Nmです。この締め付けは初期組み立て
時のみ行うため、追加の調整は必要ありません。**⚠ WARNING**

製造元の指示に従ってブレーキを調整します。

タイヤ/リムクリアランス

Cervéloバイクは、タイヤクリアランスに関するISO 4210-2:4.10.2規格に準拠しています。これらの安全基準を遵守し、限定生涯保証を維持するには、タイヤとフレームのあらゆる要素の間に最低4mmのクリアランスを確保する必要があります。タイヤとリムの接合部はますます複雑化しているため、Cervéloではタイヤを選ぶ前に、利用可能なスペースを確認することを推奨しています。



1. ボトムブラケット接合部におけるチェーンステー間のスペースを測定します。
2. タイヤの上部にあるシートステー間のスペースを測定します。
3. これら 2 つの数値のうち小さい方 (フレーム クリアランス) から 8 mm (片側 4 mm) を差し引いて、最大許容タイヤ/リム寸法を決定します。
4. タイヤをホイールに取り付けて完全に膨らませた状態で、リムまたはタイヤの幅の大きい方を測定し、計算された許容タイヤ/リム寸法の幅よりも小さいことを確認して、適合することを確認します。

⚠ WARNING

タイヤまたはリムとフレームまたはフォークが接触すると、走行中に制御を失い、重大な傷害を負う可能性があります。

これらのガイドラインに従わなかった場合、Cervélo 限定生涯保証の対象外となるフレームの損傷が発生する可能性があります。

S5自転車の用途

⚠ WARNING

自転車とその用途を理解しましょう。目的に合わない自転車を選ぶと危険です。間違った使い方をすると危険です。

あらゆる用途に適した自転車は存在しません。販売店は、用途に合った最適な自転車を選ぶお手伝いをし、その限界を理解するお手伝いをいたします。

自転車には多くの種類があり、それぞれの種類の中にもさまざまなバリエーションがあります。マウンテンバイク、ロードバイク、レーシングバイク、ハイブリッドバイク、ツーリングバイク、シクロクロスバイク、タンデムバイクなど、様々な種類があります。また、複数の機能を組み合わせた自転車もあります。例えば、トリプル crank を搭載したロードバイクとレーシングバイクの融合体です。これらの自転車は、ツーリングバイクのようなローギア比とレーシングバイクのようなクイックなハンドリングを備えています。ツアー中に重い荷物を運ぶのには適していません。そのため、ツーリングバイクを選ぶのがおすすめです。

それぞれの自転車の種類には、特定の目的に合わせて最適化できるものがあります。自転車店を訪れて、興味のある分野の専門家を見つけてください。自分で調べてみましょう。タイヤの選択など、一見小さな変更でも、自転車の性能はある程度向上したり低下したりすることがあります。

目的。

注:使用条件は一般化されており、変化しています。

自転車の使用方法について、販売店または Cervélo カスタマー サービスにご相談ください。

注意: Cervéloの自転車は、自転車、ライダー、荷物の合計重量が100kgまでとなるようテストされています。コンポーネントにはそれぞれ異なる重量制限があり、交換すると自転車の安全最大重量が変わる場合があります。お客様の自転車に適したコンポーネントについては、販売店またはCervéloカスタマーサービスにお問い合わせください。

最大重量制限 - Cervélo S5

ライダー	194ポンド	88キロ
ギヤ*	11ポンド	5キロ
合計	220.5ポンド	100キロ

※シートバッグ/ウォーターボトル/弁当バッグ/ハンドルバーボトル/収納マウントのみ

高性能道路-条件1

タイヤが地面との接触を失わない舗装路面を走行するために設計された自転車。

舗装道路のみでの走行を目的としています。

オフロード、シクロクロス、ラックやバニアを装着したツーリング、またはチャイルドシートやトレーラーの取り付けには適していません。

トレードオフ :素材の使用は、軽量化と特定の性能を両立させるよう最適化されています。以下の点にご留意ください。(1) これらのタイプの自転車は、アグレッシブなレーサーや競技志向のサイクリストに、比較的短い製品寿命でパフォーマンス上の優位性を提供することを目的としていること、(2)それほどアグレッシブでないライダーはより長いフレーム寿命を享受できること、(3) フレームの重量を増やしても寿命が長くなるよりも、軽量 (フレーム寿命は短い)を選ぶこと、(4) へこみにくく頑丈なフレーム (重量が重い)よりも軽量を選ぶこと。非常に軽量のフレームはすべて、頻繁な点検が必要です。これらのフレームは、衝突時に損傷したり破損したりする可能性があります。

これらは酷使に耐えたり、頑丈な作業用として設計されたものではありません。

S5トルク仕様

ねじ留め具の正しい締め付けトルクは、安全のために非常に重要です。常に正しいトルクで締め付けてください。このマニュアルの指示とコンポーネントメーカーの指示に矛盾がある場合は、販売店またはCervéloカスタマーサービスにご相談ください。締め付けがきつすぎると、ねじが伸びて変形する可能性があります。締め付けが緩すぎると、ねじが動いて疲労する可能性があります。どちらの場合も、ねじの突然の破損につながる可能性があります。

自転車の重要なファスナーを締め付ける際は、正しく調整されたトルクレンチのみを使用してください。正確な締め付け結果を得るには、トルクレンチメーカーの取扱説明書に従って設定と使用方法をよく読んでください。ご自身で調整を行う前に、必ずすべての関連資料を読み、適切な工具を揃えてください。

成分	トルク(Nm) 注記	
フレーム		
ボトムブラケット - 35~50 Nmでねじ込み圧入		フレーム内のBBシェルの内側を清掃し、グリースを塗ります。BBカップの外側にもグリースを塗ります。BB プレス ツールを使用して、非駆動側 (NDS) カップをフレームの NDS 側に面一になるまで押し込みます。ドライブ側 (DS) BB カップをフレームのドライブ側に取り付け、NDS カップに接触するまで手で押し込みます。トルクレンチと適切なアダプタを使用して、BB の DS カップをフレームと面一になるまで締めます。
ボトムブラケット - プレスフィット		フレーム内のBBシェルの内側を清掃し、グリースを塗布します。BBカップの外側にもグリースを塗布します。BBプレスツールを使用して、非駆動側 (NDS)のカップをフレームのNDS側に押し込み、面一になるまで押し込みます。駆動側 (DS)も同様に繰り返します。
リアディレイラー固定ナット (ディスクブレーキ)	12 ~ 15 Nm	後輪を取り付ける前に手で締め、最終トルクはオープンエンドレンチを使用しておよそのトルクにします。
取り外し可能なFDM / FDMブランキングプレート	3 Nm	固定ネジに軽くグリースを塗ります。
Di2内蔵バッテリーマウント	2.5 Nm	固定ネジにLoctite 242を塗布します。

小売業者は適切なツールと経験を備えており、調整が確実に正しく行われるようにするため、以下の調整は小売業者に実行させることをお勧めします。

ボルトを組み立てて締め付ける前に、すべてのねじ山に高品質の非リチウム系グリースをたっぷり塗布してください。ただし、ボルトにLoctite®ねじロック剤が塗布されている場合は除きます。すべてのボルトにはグリースかLoctiteのいずれかを塗布してください。両方を同時に塗布することは避けてください。すべてのねじ山付きファスナーの締め付けには、特定のトルク設定に適した目盛りのトルクレンチの使用を強くお勧めします。

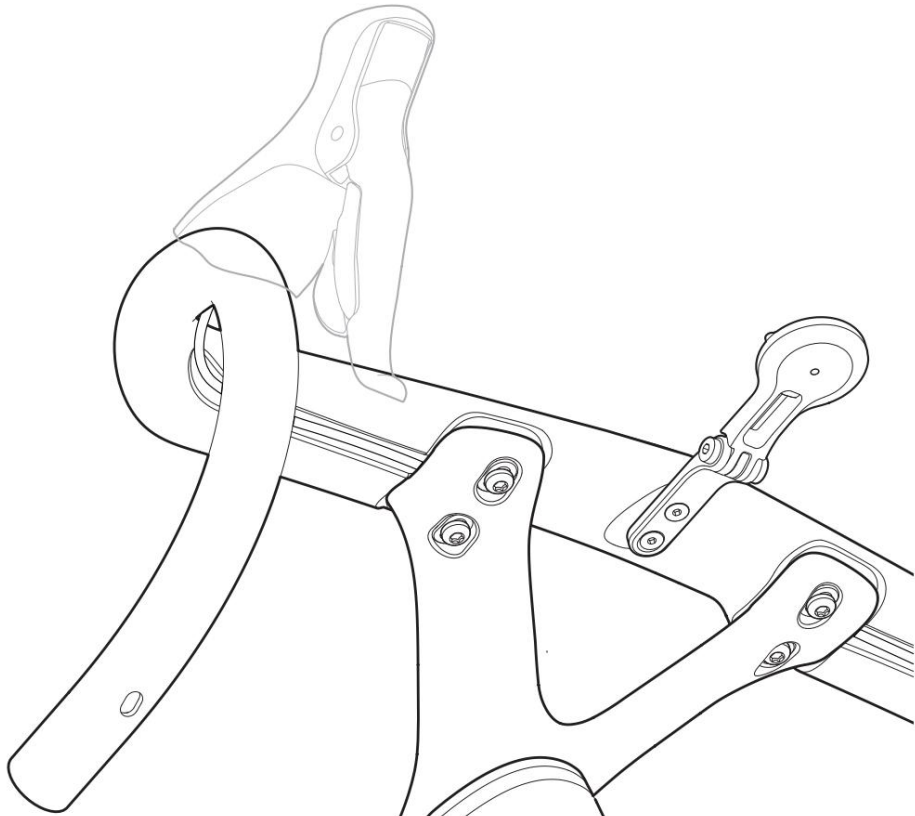
サーヴェロは、シートポストなど、カーボンファイバーをクランプするすべての領域にカーボンアセンブリコンパウンド/摩擦ペストを使用することを強く推奨しています。

フレームとステム、ステムとフォーク、ハンドルバーとステムの接合部に塗布します。このペストを使用する利点としては、腐食の可能性を低減し、所定の荷重を支えるために必要な締め付け力を低減できることなどが挙げられます。ペストを締め付け部下のカーボン表面に均一に塗布し、以下の推奨事項に従って該当するボルトを締め付けてください。

警告:以下のリストと、元の装備コンポーネントの推奨トルク値に関するサプライヤーの資料との間に不一致または矛盾がある場合は、取り付け前に Cervélo カスタマー サポートに連絡して、必要なトルクの確認と説明を受けてください。

成分	トルク(Nm) 注記	
ウォーターボトルケージボルト	2~3Nm	固定ネジに軽くグリースを塗ります。
フォーク		
上部ベアリングギャップスパーサー	1 Nm	自転車とは別のフォークのギャップスパーサーに固定ネジをねじ込み、スパーサーがフォークの上部と面一になるまでねじ込みます。組み立て作業に入るまでスパーサーを取り外してください。組み立て作業は、フォークを90度回転させ、ギャップスパーサーをフォークアッパーとフレームの間に差し込みます。スパーサーがフォークアッパーと面一になるまで固定ネジを締めます。
テンションロッド/プリロードコーンからフォーク (ボルト1本)	2 Nm	プリロードコーンとテンションロッドのネジ端にグリースを塗布します。
フォークプリロード固定ネジ	4 Nm	ステムボルトを締めた後、プリロード固定ネジを推奨トルクまで再度締めます。
フォークドロップアウトインサート	3 Nm	ネジに軽くグリースを塗り、NDSフォークのドロップアウトに指で締め付けます。アクスル (ホイールなし)を取り付け、アクスルフランジがフォークのドロップアウトに接触するまで締め付けます。その後、固定ネジを推奨トルクで締め付けます。アクスルを取り外し、アクスルとホイールを推奨トルクで取り付け、取り外します。固定ネジを推奨トルクで締め直します。
幹		
ステムからカーボンフォーク (ボルト3本)	8 Nm	M6ステム固定ネジにグリースを塗布し、交互に繰り返しながら推奨トルクまで締め付けます。
ステムからカーボンハンドルバー (トルクスボルト4本)	5 Nm	ハンドル固定ネジに軽くグリースを塗り、均等に交互に推奨トルクまで締めます。
ハンドルバー		
ブレーキ/シフトレバー (ハンドルバーへ)	6~8 Nm	ブレーキ/シフトレバーの取り付けについては、製造元の指示を参照してください。
2ボルトアクセサリマウント - フロント	2 Nm	固定ボルトに軽くグリースを塗ります。
シートポストクランプ (フレームからシートポストへ)		
ウェッジクランプ - 丸みを帯びたフロント	8 Nm	シートポストとフレームの間にカーボンアセンブリコンパウンドを使用します。
サドル (シートポストヘッドボルト) - SP20 Aero Carbon		
2ボルトヘッド	8~9Nm	両方のボルトに Loctite 242 が使用されていることを確認します (1 つは事前に塗布されています)。
ホイール		
サーヴェロ エアロ スルーアクスル / 取り外し可能なハンドル付きサーヴェロ エアロ スルーアクスル	12 ~ 15 Nm 6mm六角レンチ型	六角レンチ型レンチまたは取り外し可能なハンドルを使用する必要があります。
他の		
ペダル	30 ~ 35 Nm	製造元の指示を参照してください。

Cervélo の保証ポリシーの詳細については、www.cervelo.com/warranty をご覧ください。



2023 S5 リテーラー組立マニュアル

www.cervelo.com

CER-S5F-V1 - 2021年12月22日

cervelo